

ルーテル学院報 Luther No.7

生まれ変わった新バス停

「ルーテル学院前」がオープン



10月30日、90周年記念事業のひとつ、「ルーテル学院前」南行バス停が完成し、オープニングセレモニーを挙行了しました。セレモニーには、設計・施工を担当した㈱タケウチから竹内克己常務、熊本電気鉄道㈱の中島敬高社長、および学院関係者等、約80名が参加し新しいバス停の完成を祝いました。このバス停は、国の登録有形文化財である高校本館をイメージした独創的なデザインです。背後の石垣にもマッチし、校舎を思わせる窓のついた建屋は風雨を避けることもできるなど、利用者に優しく、安全なバス停です。この、独創的でどこにもないバス停は、生徒・学生だけでなく、地域の皆様にも愛されることでしょう。なお、11月1日の始発便より供用を開始し、12月25日までクリスマスイルミネーションで装飾しています。学院にお越しの際は、ぜひ新しいバス停にも、お立ち寄りください。

Contents

生まれ変わった新バス停「ルーテル学院前」がオープン	1
創立 90 周年に向けて ～学院創立 88 周年記念式典～	2
こころとそだちの臨床研究所ができました	3
幼保連携型の認定こども園にかわります	4
聖書の言葉	6
ルーテル学院ヒストリー	7
募金報告	8

創立90周年に向けて

～学院創立88周年記念式典～

10月3日、九州ルーテル学院創立記念式典が中高礼拝堂で開催され、全教職員と関係者をあわせて160名が参加しました。

開会礼拝に始まり、坂根信義理事長のメッセージ、永年勤続者表彰、来賓代表として同窓会のいばら会会長の谷口美樹氏（高校30回生）の挨拶、および学院倫理綱領の朗読が行われ、学院が一つになった式典となりました。

また、永年勤続者表彰者を代表として、栗原希代子教諭（中高）が「神様から与えられた良き仲間、同僚との出会いに心から感謝している。これからもミッション（使命）をもつ学院



栗原先生のスピーチ

で、建学の精神に基づく教育目標を軸として、学校の発展に貢献したい」と謝辞を述べました。

中高生徒プログラムでは、卒業生である平田晶子氏（熊本県上天草市議会議員）と、中学・高校が長年、卒業アルバム作成等でお世話になっている、末永雅伸氏（フォトアトリエすえなが代表）のお二人をお招きし、講演会が開催されました。平田氏は、「好きなことであれば、少々きついことがあっても頑張れる。日々ポジティブな気持ちを持つことが大切」と語り、末永氏は「自分の思いが伝わるように言葉を磨くこと。それには本をたくさん読むことが大事」と語りました。生徒たちの関心も高く、熱心に耳を傾ける姿が印象的でした。



生徒から花束を受け取る、平田晶子さん(左)と末永雅伸さん

ルーテル・アート・アカデミーコンサート華やかに

ルーテル学院高校 芸術コース 音楽専攻

教諭 常定 知基

8月30日、熊本県立劇場コンサートホールにて「ルーテル・アート・アカデミーコンサート」が行われました。ルーテル・アート・アカデミーは、創立80周年を機に本校芸術コースの生徒及び卒業生を応援する目的で作られた団体で、コンサートと美術展を隔年で実施しています。

国内外で活躍する卒業生の演奏を



野田沙織さん（ヴァイオリン）2003年卒



古閑 匠さん（テノール）2007年卒

熊本の方々に聴いていただくことが大きな目的であるこのコンサート。創立80周年記念コンサートを第1回として5回目を迎えた今回は、共学化されて九州女学院からルーテル学院に校名変更してからの若い卒業生を出演者として選びました。そのため、5回目にして初めて男性の出演者も演奏を披露しました。

来年は美術の年。7月29日から8月3日にアートのスペース大宝堂にて美術展が行われます。是非、足をお運びください。



こころとそだちの 臨床研究所ができました

心理臨床学科長 こころとそだちの臨床研究所

所長 有村 達之

今年7月にこころとそだちの臨床研究所と、それに併設されるカウンセリングルーム『ジャニス』が開所しました。これはさまざまなこころの問題について研究や助言、カウンセリングを行うことを目的に設置されました。

カウンセリングルームでは、不登校、学習面や発達の遅れなどこどもの問題、人間関係、性格や行動の問題などについての相談ができます。また、教育、保健、福祉の現場で働いておられる方、企業の人事担当の方が困っておられる問題についても相談を受けることができます。祭日および年末年始を除く毎週、水曜日が電話受付日（午前10時から15時）、お電話をいただいたのち、カウンセリングの日時を決めさせていただきます。利用料は初回五千円、二回目以降は三千円です。相談を受けるスタッフは臨床心理士、保健師、精神保健福祉士で、大学教員の所長、研究員が

スタッフをバックアップしています。地域に開かれた相談機関としてスタッフ一同頑張りたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



カウンセリングルーム『ジャニス』



90周年コラム

ルーテルと私

岩崎 佳子
(九州女学院90周年)

女学院を卒業して、はや数十年が過ぎました。高校生の時に、創立30周年を迎え、荘厳な式典を経験致しました。

私たちの時代は、生徒の人数も少なく、上級生と下級生の仲がとても良く、家庭的な雰囲気になり、教室にはスチームが入り、温かったことが、不思議に思い出されます。

在学中、創立者であり、長きにわたり女学院のために尽力されたマーサ・B・エカード先生の偉業、あのメイ・ポール・ダンスの復活、パイプオルガンの設置等がありました。

私の子育て中に創立40周年、再度、奉職してから創立50周年と創立70周年を迎える幸運に恵まれました。そして、その折、同窓会企画「女学院のルーツを訪ねて」の訪米旅行に参加しました。この旅は、北米一致ルーテル教会への女学院設立と支援の感謝の旅で、大変有意義な楽しいツアーでした。その時に、お世話に



岩崎 佳子さん

なつたホームステイの家族の方々と交流は、今でも続いています。私は、母校とともに齢を重ね、大好きな女学院で人生の大半を過ごし、職員として働くことも出来ました。私を女学院に導いて下さった神様に感謝で一杯です。終わりに、創立90周年の喜びと共に、母校が、キリスト教主義学校としての香りを放ちながら、益々、その存在価値を高められることを心から祈っております。



高校1年生の頃

幼保連携型の認定こども園にかわります！

～0歳の赤ちゃんからお待ちしています～



認定こども園完成予想図

ルーテル学院幼稚園は、2015年4月から『認定こども園ルーテル学院幼稚園』という新しい看板を掲げることになりました。

熊本市から園児募集開始前日の10月末日に、認定こども園としての内定の連絡をいただき、現在、乳児保育室・厨房施設の第2期工事の完成を目指しているところです。

幼稚園の名前はそのまま残りますが、今まで以上に利用しやすい教育と保育を一体的に行う施設として移行していきます。

大きな変化は

①3つの認可区分に別れて募集が行われます。

1号認定…満3歳以上で、教育を希望される場合。

(今までの幼稚園と同様)

2号認定…満3歳以上で保育の必要な事由に該当し、保育教育を希望される場合。

(1号認定・2号認定 計150名)

3号認定…満3歳未満で保育の必要な事由に該当し保育を希望される場合。(30名)

②開所時間も大幅に朝7時半から夕方18時半(11時間)まで変わります。

地域の方々に加えてルーテル学院で働く皆様も、今まで以上に安心してお仕事と子育てが出来るような教育保育施設としてご利用いただきたいと思います。

神様の恵みがあふれる認定こども園となるよう、新しいミッションの中で職員・園児が力強く歩みを進めていこうと思います。

ルーテル学院幼稚園・幼児園

園長 尾田 明子



合志市との

連携包括協定が

調印されました

11月18日、熊本県合志市と本学院は、お互いの力を活かし、更なる地域の発展に努めていくことを目的として、「地域社会発展のための包括的連携に関する基本協定(包括協定)」を調印しました。

調印式には、合志市側から荒木義行市長はじめ7名、学院側から坂根信義理事長はじめ8名が出席して、今後幅広く協力していくことを確認しました。この包括協定は、地方行政と本学院の人材育成や教育研究を融合させることで、新たな取り組みを作っていくものです。

最初の連携として、合志市の「女性子育て政策」の中で、本学院が今年7月に開設した「こころとそだちの臨床研究所『シャニス』」を活用していただいて相談業務を充実させたり、支援者の育成に協力します。

この包括的協定

をきっかけに、幼稚園・中学・高校・大学を持つ総合学園である本学院が、合志市との間により深い信頼関係を築き、幅広い分野での協力が生まれることを期待しています。



調印書を手に握手を交わす
荒木義行市長(左)と坂根信義理事長

ご声援ありがとうございました。

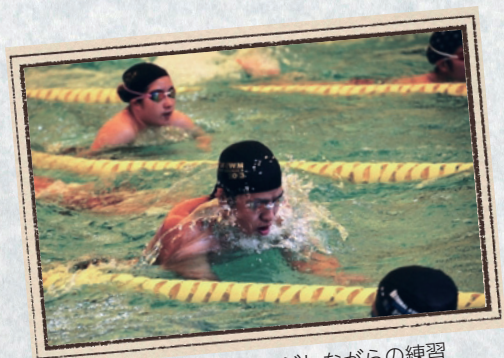
第69回国民体育大会 長崎がんばらば国体2014

ルーテル学院中学・高校 水泳部顧問 宮部 美江

9月12日から9月14日までの3日間、長崎県において第69回国民体育大会水泳競技大会が行われました。ルーテル学院高校から3年生の林孝晟選手、續彩加選手、2年生の中川良美選手、1年生の神崎百恵選手の4名が出場し、優秀な成績をおさめることができました。

結果は、神崎百恵選手は少年女子200m個人メドレーで準優勝、100mバタフライ7位入賞。林孝晟選手は少年男子200mバタフライで8位入賞。續彩加選手と中川良美選手は、少年女子400mメドレーリレーにおいて、決勝進出に

あと一歩及びませんでした。熊本県新記録で10位という成績でした。それぞれの選手が熊本県代表として積極的なレースを展開し、チーム熊本の一員として全国の舞台で戦えたことを誇りに思います。また、支えて頂いた多くの方々に深く感謝いたします。



常にレースをイメージしながらの練習



宮部先生の熱心な指導

復興願いハンドベル

7月30日、中高ハンドベル部の19名と教員2名が、東日本大震災で被災した、福島県いわき市を訪問し演奏を披露しました。

一行は、茨城県で開かれた「第38回全国高等学校総合文化祭 器楽・管楽器部門」に出演後、その足で最初の訪問地であるいわき市の南台仮設住宅を訪れました。

コンサートでは、「くるみ割り人形」「祈り」など7曲を披露。「復興の祈りを届ける演奏を心掛けています」と顧問の常定教諭。

「涙そうそう」の演奏が始まると、それまで静かに耳を傾けていた、仮設住宅に避難する皆さんが、静かな声で自然と歌詞を口ずさみ始めました。

同部は、震災後の福島県や宮城県内の仮設住宅や保育園等を訪問し、演奏を通じて支援活動に取り組んでいきたいと考えています。



双葉町仮設住宅「ひだまり」の皆さんと（福島県いわき市）



大森第三仮設住宅での演奏（宮城県石巻市）

聖書の言葉

『必要な小さき』

新約聖書のコリントの信徒への手紙―12章20節―22節にはこうあります。

「だから、多くの部分があっても、一つの体なのです。目が手に向かつて『お前は要らない』とは言えず、また、頭が足に向かつて『お前たちは要らない』とも言えません。それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです。」

この言葉から、私たちの体はどの部分もすべてが必要なのだということ語りかけています。

あなたは、「自分は小さな人間だ。人の役にも、神様の役にも立たない」と思っているかもしれない。実は、神様はそんな風に思っている人こそ必要とされているのです。自分の弱さを知る人こそ、神様の大きな力を現すことができるのです。

こんなエピソードを読んだことがあります。甲子園の春の選抜高校野球のある試合のことでした。一人がプレーヤーとして自分の力に限界を感じたので、試合に出ずに、ただ監督の指示を選手に伝える

大学チャプレン ホワン 黄 ダーウエイ 大衛

る「伝令」専門になってしまいました。決勝戦で味方の投手がピンチを迎えました。この「伝令」はマウンドの投手に監督の指令を伝えた後、こつ付け加えました。「優勝したら、学校の食事をタダで食べられる。おばちゃんが言っていた」と。投手の顔に笑顔が戻りました。そして、後続を打ち取り、見事に優勝したのです。

野球の試合とさええば、まず目立つのは投手や四番打者でしょう。しかし、ここでは、「伝令」が勝利に大きく貢献しました。脇役であるこの「伝令」は自分の役目を忠実に果たした時、大きな実を結ぶことができました。

私たちも、学院全体の様々な力を合わせて、より大きな成長を目指しましょう。



黄チャプレン

工藤勇壹先生をしのぶ会

ルーテル学院高校 芸術コース音楽専攻 教諭 福島 佳子

去る4月22日にご逝去された工藤勇壹先生をしのぶ会を、8月21日午後2時より本校礼拝堂にて開催しました。この日は工藤先生のお誕生日でもあります。

ご親族の方々、九州女学院・ルーテル学院卒業生など300名近い出席をいただき大変感謝しております。

第1部の追悼礼拝では、崔チャプレンの司会により旧職員の竹内一臣先生が工藤先生との思い出を語っていただき、在校生による聖歌隊の声に涙しながら過ごしました。

第2部のしのぶ会では、工藤先生が指導された3つの合唱団やコース部OG有志、個人的指導を受けた卒業生による演奏などを取り混ぜて行いました。その途中、西側の窓から一筋の光が礼拝堂内に差し込み、工藤先生が『ここに居るよ!』と答えてくださったように感じました。心よりご冥福をお祈りします。



2012年のルーテル学院音楽会で花束を受け取る工藤先生

野外活動に学生ボランティアを活用して

ルーテル学院中学 アシストティーチャー カマル・カルナラナ

今年の9月に中学一年生の野外活動（キャンプ）が2泊3日の日程で、河陽のルーテル阿蘇山荘で行われました。これまで、教員が中心となって取り組んできましたが、今年は、新たな試みとして、九州ルーテル学院大学の学生（8名）に参加してもらいました。

その結果、大変有意義なキャンプができました。特に、学生と生徒間の交流が深まった貴重な時間となりました。中学生にとっても、学生にとっても共に成長することができたキャンプであったと思います。今回の学生参加の新しい試みの効果として、2つのことが挙げられます。ひとつは、大学との一体感がもたらしたキャンプであったこと、もうひとつは、学生が中学生にとって良いモデルとなってくれたことです。



真剣な表情の生徒たち

事故や大きな怪我を防ぎ、笑顔で無事にキャンプを終えることができたのは、学生たちが常に生徒の身近で動いてくれたおかげだと思えます。心から感謝し、これからもさらに大学との交流を深めていきたいと思っています。

「歴史の扉」 ～その時ルーテル学院は～

創立者エカード先生の風ぼうとお人柄

今村登志



エカード先生といえば、あの優しい笑顔が先生を知る人の目にすぐ浮かぶことだろう。薄茶色の涼しい瞳、広い額、形よい鼻、強い意志を示す口元、亜麻色の柔らかそうな髪、どうどうたる姿。

先生の人柄を、わたしはとても十分に言いつくせない。女学院に立つ



卒業生から贈られた羽織を召されたエカード先生

日曜学校生徒の幼い時から、教会で、家庭で、学校で学ばれた神の愛、キリストの愛が先生の心の中に沁み込んでいたと思われる。その愛は、年と共にキリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さを理解できるまでに成長を遂げられたのではないだろうか。愛情に加えて思慮深く、

文化に対する真の理解と厚き尊敬とはいずれも先生の人格に接した人の終生忘れる事の出来ないところである…」と刻んである。

「先生の愛の背後にはイエス・キリストがおられた」と江藤安純先生(元学院長)が語られた。

寛容で、威厳があり、抜群の包容力と指導力を備えられ、思いやり深く、他人の苦労に對して心から感謝される方であった。私たちは先生のために働くのは喜びであった。

27歳で来日されて以来、40年間、いかに多くの日本人が先生に触れ、ついに救い主を信じるに至ったことであろう。

先生は自分のことよりも先に人のことを思われた。高熱のためにベッドに釘づけされなが

ら、わたしがお部屋のドアを開けると、細目を開けて、ご自分から「いかがですか」と、細い声で尋ねられた。少し笑みさえ浮べて。

人が苦境にある時は駆け寄って助けずにはおられない方があった。あまり立ち入って、嫌がられるといけないと思う前に、やむにやまれぬ気持ちで駆け寄り、寄り添った。また少々言いつらいことでも本人のためを思って忠告された。人から陰で批判されている人のかばって、

「でも、あの方にはこういう良いところがありますよ」ともおっしゃった。

ハンセン病患者、ハンセン病未感染児童、悩みある者、悪癖に苦しむ人、神経衰弱の人、胸の病に倒れる人の友、助け手であったことを思い出す。

1955(昭和30)年のご帰国前、菊池恵楓園へ度々見舞っておられ、目の見えない若い女性患者からのお礼状の中に、次のような句があった。

朝涼し エカード女史に おとなわれ

百合生けて エカード女史の 幸祈る

今村登志著 緋薔薇くエカード先生の思い出く

(1987年発行)から抜粋

著者 今村登志氏

1910(明治43)年熊本市生まれ。1932(昭和7)年より1955年までエカード先生の書記を務め、九州女学院教師も兼任。また、1946(昭和21)年より1976年まで同校事務職員も兼任した。2002(平成14)年召天 92歳

募金報告

2014年6月11日
11月10日まで(五十音順)

御礼
学院創立90周年記念事業計画にご賛同いただき、
そのための募金にご協力くださいます。心からお
礼申し上げます。
感謝の意を込めて、ここに芳名を掲載させてい
ただきます。
今後も募金活動は続けて参りますので、なお一層
のご協力をお願い申し上げます。
2014年11月

募金委員長 林田 博文

企業

アーホテル熊本城前様
アールエスエス様
旭設備工業様
諫山工業様
上田事務所様
上野城山堂様
九州建設様
九州産業交通
ホールディングス様
熊本銀行様
熊本電気鉄道様
クイックフォーススタジオ様
コカ・コーラウエスト
ペンディング様
コスギ不動産卒
業生有志一同様
西都エレベーターサービス様
大進様
タケモト様
地域情報センター様
電翔様
ノマ企画様
ハウインターナショナル様
大塚メデイカル
八景水合フリニック様
肥後銀行様
二神石油ガス様
松尾建設様
光多制服様
明和不動産様
雄光様
リノージャパン熊本支社様
掲載を希望されない
ご寄付者1社
一般有志・教会・団体
清重 ナナ様
松山 伸子様
村上 洋也様

卒業生

米澤 静江様
日本福音ルーテル
合志教会様
掲載を希望されない
ご寄付者2名
阿部 史子様
荒木 千賀様
飯富 洋子様
家入 良子様
伊豆野敏江様
一門 恵子様
稲田 博子様
井上 廣子様
江崎須美子様
岡 ひろみ様
小島 康子様
鬼塚 智美様
柿山 英子様
片山 裕朗様
金田 順子様
北 品子様
木下眞理子様
隈部安燿子様
合志 敦子様
古閑登世美様
小西 正子様
近藤智佐子様
佐久原百合子様
嶋田 紫様
田上美恵子様
滝口 尚子様
武本 郁美様
田尻 涼子様
田中 友子様
田中 雅代様
谷口 桂子様
谷口 美樹様
出口 和子様

寺本 晟様
友江満智子様
永満 法子様
永満 由里子様
中村 典子様
永村 典子様
西村季句代様
野崎 道子様
橋口 博子様
八田 智子様
濱口ひろみ様
濱田由美子様
原武 博子様
東田 恵子様
東山 恵子様
平岡 澄子様
広田 子ズ様
福田 悦子様
福田 邦子様
福田 寿代様
藤本 睦子様
藤原 靖子様
布田 君代様
馬屋原誠司様
右田 京子様
三澤 玲子様
宮本多枝子様
森口 由美様
矢賀部知子様
八木 洋子様
山神美代子様
山崎 英子様
横田 和子様
吉野 箴子様
吉本多恵子様
吉本多恵子様
和田めぐみ様
関西のいばら会様
ルーテル学院(九女
高校)15回生一同様
宅建九女会会長
中川喜代子他一同様
2014のいばら会ホーム
カミングデー募金箱様
ハドル先生をしのぶ会様
福岡のいばら会様
結会事務局様
掲載を希望されない
ご寄付者7名
赤星 哲也様

揚村 清志様
有村 弘貴様
池田 利喜様
石川 映子様
井上 香子様
井上千 香子様
今村 やよ様
井村 登様
岩崎 和彰様
上野 津子様
上野 直様
上村 晋一様
内田 宏二様
内山 恵子様
宇藤久美子様
梅田 幸弘様
江藤誠一郎様
榎木 広一様
大塚 明宏様
大塚 重憲様
大野 真二様
岡田 和弘様
緒方 和美様
小方 和義様
岡田 ユミ様
岡本 稔様
奥嶋 一文様
奥園 栄純様
嘉悦 正英様
郡 昌史様
鹿瀬島 優様
金子 義文様
川上 和子様
河上 忠雄様
川崎 宗弘様
川崎 伸二様
河嶋 竜一様
河嶋 順子様
清田 太様
栗原 邦広様
黒河内 正様
黒田 美和様
桑原 尚人様
甲野善一郎様
高録 弘子様
古閑 昭幸様
小島 英昭様
後藤 美信様
齊藤 忠継様
坂上 義浩様
坂口 留美様

阪田 浩人様
坂田 浩幸様
坂本 多美江様
坂本 友子様
坂本 憲昭様
坂本 謙吉様
笹原 信幸様
沢幡 啓子様
白須 芳則様
陣内 肇子様
砂田 昌子様
墨田貴代子様
高村 孝様
竹下 裕隆様
橘 孝志様
田中 貴章様
田中 優子様
種子島公彦様
塚本 祐靖様
津川 正樹様
津志田和也様
津田 浩司様
椿 健志様
霧野 正昭様
磨田順一郎様
鳥嶋 晃様
永江精一郎様
中田 浩利様
永田由美子様
中原 篤様
中原 泰子様
中村 修様
中村 浩子様
南部 徹様
西 浩光様
仁多協安博様
野口 拓司様
野口 弘一郎様
野田 法子様
野中 一夫様
橋本 修様
濱 勇様
林田 徳浩様
林 佳恵様
原口 武仁様
原 隆功様
平島 隆章様
福本 憲穂様

古川 文隆様
堀江 恵一様
本田 和彦様
前田 春久様
益田 英明様
松尾 洋一様
松永 裕治様
丸山 智恵様
丸山 傑様
丸山 恭徳様
馬渡信一郎様
溝上 敏和様
南 博様
蓑田 奈美様
宮崎 博文様
宮崎 祐一様
宮崎 幸久様
宮島 将臣様
宮本 武士様
武藤 瞳様
村上 大和様
村田 知三様
守原 知那様
守永 光義様
高濱真里子様
柳原 千尋様
田上 英雄様
山内 義和様
山内 努様
山品 公博様
山田 香美様
山田 知子様
山本 誠一様
吉川 誠一様
吉田 和輝様
吉田 三津子様
吉田 孝博様
渡辺 誠様
小テル学院中学・高校PTA様
掲載を希望されない
ご寄付者34名
学院関係者

植野 堀正子様
上原 栄作様
衛藤 繁様
江藤 安純様
大寺 拓郎様
緒方 雅人様
緒方 聡様
尾田 明子様
金津 左代様
狩野 敬大様
河崎 隆夫様
河津 巖様
河田 将一様
河津 将一様
工藤 知子様
川原 和美様
栗原希代子様
黒原 裕俊様
坂口 信義様
坂根 仁様
坂本 美樹様
櫻井エム子様
島内 直英様
園田 松吾様
田中マリ子様
田仲 洋介様
田畑 英一様
田村 優佳様
崔 大凡様
常定 知基様
恒松千佳子様
鶴山 克郎様
寺本 行義様
寺本 泰行様
富田 達朗様
朝長千恵子様
豊田 憲一郎様
永井 剛様
永野 典詞様
中村 和子様
西山 慎一郎様
西山 隆志様
根間 貴子様
橋本 幸世様
橋本 尚様
濱崎 庸一様
濱田 昭吾様
東田 理穂様
百武 玉恵様

平江 美貴様
福島 佳子様
福田 恵美様
福田 茂様
福田 昇八様
福田 千穂様
藤原 千穂様
藤原 べに様
古屋 四朗様
前田 貞一様
牧 均様
眞崎 利範様
益田 亮英様
松尾 睦寛様
松元 洋行様
松本 充右様
松本 君太様
的場 大介様
三城 大介様
水谷江美子様
水野 博子様
満崎優美子様
宮田 博司様
村中 司様
百家 裕幸様
山内 隆雄様
山口 初子様
吉田 謙様
吉田 裕子様
和田 成子様
渡邊 健太様
九州ルーテル学院大学生
支援センターカフェ
九州ルーテル学院図書館
ルーテル学院中学・高校生徒会様
掲載を希望されない
ご寄付者9名

ご協力者名簿の掲載についてのお知らせ
今回の掲載については、掲載の同意を得られた方のみ載せております。なお、11月10日現在において、同意未確認の方は掲載しておりません。掲載の同意をいただければ次号の学院報に掲載させていただきます。また、お気づきの点等ございましたら、下記の募金事務局までご連絡ください。今後とも引き続き旧日のご厚情を賜りたくお願い申し上げます。
電話096-343-3111 学院総務部 募金事務局